

月刊むらびいと

題字：乾十郎さん

8
2015.6

発行 南山城村
道の駅運営準備室
0743-93-1392
発行日 2015.6.1
通算 0008号

「むらびいと」とは、村人とBEATをかけた「村人とその鼓動(生き様)」を表す造語です

お茶シーズン到来！ 手摘み・手もみの 現場に密着！

初めて見る新茶の景色

5月2日、田山地区の出品茶用茶摘み・手もみ保存会の手もみに行ってきました！私たちが道の駅準備室の発足が昨年夏なので、初めて見る新茶の現場に一同感動！いつも当たり前に飲んでいたお茶がこんなにも手がかかっていたなんて。お茶の奥深さを痛感しました。(みやた)

みんなが揃って茶葉を集める青年、昔ながらの大きな竹かご

横まくり

蒸した茶葉をほぐす

茶葉を左右に転かしまんべんなく水分を飛ばす。2時間もむと、ネチネチに茶葉がふわ、とする。

蒸し

茶切り

玉とぎ

毛み切り

板ずり

乾燥

合計6時間!! 終了完成!!

お茶がどんな感じがするかな?

中治茶独自の製法、板とりの傾斜を使い、仕上げ揉みの作業を1時間

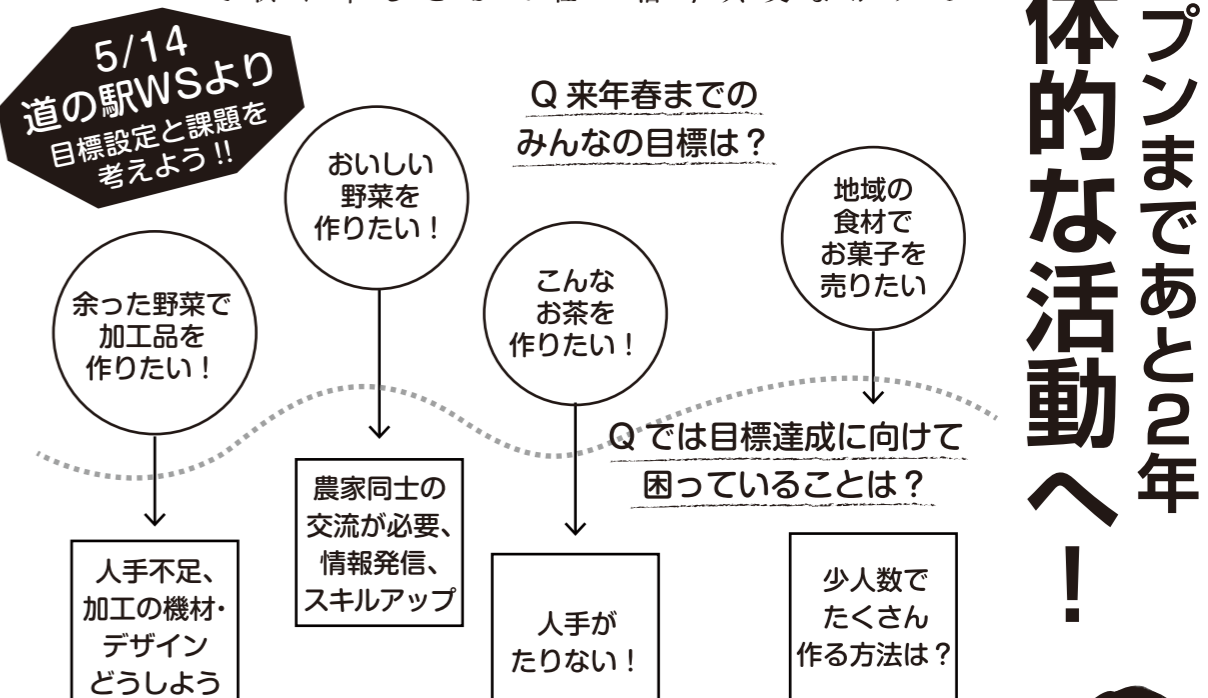
手もみ前後に茶葉の方向を揃える

両手で持ち上げながら車にまむ。

オープンマデノミチ タイムライン

2015 4月	今ここ!
5月	商品企画 WS スタート (月1回)
6月	株式会社設立
7月	
8月	
9月	
10月	造成工事始まる
11月	
12月	生き活き祭りでの三二道の駅出店
2016 1月	
2月	
3月	商品20品目開発発表会!
	建物着工!
2017年 春オープン	

5月14日、今年初めての道の駅ワークショップ(以下、WS)が開催されました。今まではチーム四万十を交えて、全体で考え方を共有してきましたが、今年度からは具体的な活動、商品開発を行うため、全体でのWSは数回程度と少なくなりました。そのため、14日のWSでは個々で目標設定と課題を出して頂きました。それを受けて、準備室としてもサポート出来ること、情報提供など協力体制を作っていきます!



今回のワークショップでは皆さんの道の駅への関わり方と目指す方向・取り組むべき課題を明確にしました。個々が取り組むべき課題もありますが、準備室としても出来る範囲で一緒に考えたり、情報提供などのサポートを行っていきます。

みやた

商品企画室ワークショップ開催します!

みんなで考えよう! 切磋琢磨しよう!

加工品だけでなく、野菜、陶器など雑貨やツアー商品を考えて作りたい! という方に向けたワークショップを開催します。技術面だけでなく、基本となる考え方から一緒に作っていきましょう!

初回は6月4日 19時~21時 やまなみホール 加工場にて

6/4 コンセプトを考えよう
7月 試食会・展示発表会
8月 企画書を作ろう
9月 デザインの考え方

10月 販売戦略を考える
11月 大試食会・展示発表会
11/23 ミニ道の駅出店(生き活き祭り) 来年春 お披露目発表会

たなべ

編集後記

村の茶畑 景観や宇治の茶道

など日本の喫茶文化の展開を生産・製茶面でリードした歴史、などが「日本茶800年の歴史散歩」として、文化庁の日本遺産に指定されました。村の茶畑を見ると地域毎の特色はありますが、民家に茶畑が迫っていたり、村人の営みの中に茶があったんだなと感じます。景観を守るために条例を作るところもありますが、景観は人々の営みが作り出す機能美。まず守らなければいけないのは人々の営み。世界遺産登録への期待もありますが、営みの継続を中心に何が必要かを考えることが大事だとあらためて思いました。(森本)

村人 X の親父ギャグ★ 私は梅雨(つゆ)に産まれました。ハッピーバースデー梅雨(つゆ)♪